

愛知県感染症情報

平成 13 年第 18 週（5 月第 1 週）

（コメント）

連休の影響もあり報告数は全体的に減少しています。

（先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
 - ・ 病原性大腸菌感染症 O-1 8 歳男
（尾西市 城後小児科）
 - ・ 水痘、ムンプス散発 Fever 4 ~ 5 日。アデノウイルス様疾患散発。
伝染性紅斑もあり。
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
 - ・ 伝染性紅斑 3 名、麻疹 1 名（予防接種未接種）ありました。
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- 尾張東部地区
 - ・ 麻疹（1 歳女）は愛知県外の患者です。相変わらず咽頭結膜熱、
マイコプラズマ感染が多くみられます。A 型インフルエンザは 3
名。
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
 - ・ アデノウイルス感染症と思われる症例目立ちました。（結膜炎合
併例もあり）水痘、流行性耳下腺炎、溶連菌感染症等散発。
（尾張旭市 佐伯小児科医院）
 - ・ 水痘が流行しています。
（春日井市 かちがわ北病院）
 - ・ ムンプス髄膜炎 2 名。麻疹 2 ~ 3 名発生。ロタ胃腸炎まだ多し。
（小牧市 小牧市民病院）
- 西三河地区
 - ・ 6 歳麻疹（JRA（若年性関節リウマチ）でステロイド内服中）
（幸田町 とみた小児科）
- 東三河地区
 - ・ 連休中にインフルエンザの子がいました。
（豊橋市 こどもの国大谷小児科）

- ・ 市内中学校で流行している熱性疾患のうち3名はOIA* (-)でした。麻疹が出てきました。

(蒲郡市 蒲郡市民病院)

注) OIA* : A・B型インフルエンザウイルスを同時に検出する迅速診断キットの一種。ただしA・B型の区別はできない。

(1~3類感染症の発生状況)

細菌性赤痢患者1名。

- ・ 刈谷保健所から報告の68歳女。4/28初診、5/1診定。菌型はフレキシネル1a型。

(全数把握の4類感染症の発生状況)

報告はありません。

◆ 病原体検出情報

平成13年4月16日から19日にかけて、蒲郡市内の中学校においてインフルエンザ様疾患の集団発生があり、搬入されたうがい液からB型インフルエンザウイルスが分離されました。ウイルスの抗原性はヴィクトリアタイプであることが判明しましたが、同タイプのウイルスは平成10年6月に分離されて以来、3年ぶりの発生となります。しばらくの間注意が必要と思われます。

第16週(平成13年4月16日~4月22日)の4類感染症の全国状況
麻疹は、過去5年の同時期と比較して定点当たり報告数がかなり多くなっている。流行性耳下腺炎も例年と比較して定点当たり報告数がかなり多い状態が持続している。咽頭結膜熱はオフシーズンとしては例年になく定点当たり報告数が多くなっている。流行性角結膜炎は宮崎県で定点当たり報告数5.0、茨城県で3.5と多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)